

巴中校区小中一貫教育グランドデザイン

令和8年3月改訂

目指す子ども像

- ・自分の考えを持ち、伝え合ったり説明したりできる子ども
- ・互いの良さや個性、多様な考えを認め合うことができる子ども
- ・自分の目標を持ち、見通しを持って粘り強く取り組むことができる子ども

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

○個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実

- ・子どもの成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援
- ・子ども自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるように支援
- ・一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせさり、よりよい学びを生み出すように支援

○ICTの活用

- ・学習履歴（スタディログ）生徒指導上のデータ、健康診断情報等を利活用し、教師の負担を軽減
- ・クロームブックの活用方法、持ち帰り等について情報交流し、小中で一貫したハード、ソフトの活用について、9年間を見通した情報活用能力表を作成

○ブロック研修会の開催

- ・研修テーマに基づく公開授業と研究協議を、全教職員を対象に各校ローテーションで実施
- ・担当者会議（教務・生徒指導・研究担当）からなる教育活動の意見交流会議を実施

中1ギャップ問題未然防止

○小中連携授業の推進（小・中相互の公開授業の実施）

- ・教科における連携授業の推進
- ・中学校生活についての連携授業の推進

○小6の中学校体験入学の実施

○小6児童に関する小中でのきめ細かな引き継ぎ

○児童生徒理解支援ツール「ほっと」による分析の交流

○不登校、いじめ問題に関する情報交流

○特別支援教育の情報交流（特別支援コーディネータ）

- ・特別支援学級見学等の際に個別に情報交流

特別の教科「道徳」の授業改善

○内容項目の重点化

- ・いじめに関すること
(友情、信頼、相互理解、寛容)
- ・郷土愛に関すること
(伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度)

○9年間の発達段階に応じた年間指導計画の作成

家庭学習習慣の確立

○家庭学習強調週間

- ・中学校の定期テストに合わせて、小中6校による家庭学習強調週間を設定
- ・家庭学習強調週間のリーフレットを作成し、家庭に配布し連携

○ネット利用に関する取組

- ・スマートフォン等のネット利用の約束の小中一貫
- ・テレビ、ゲームの使用の約束の小中一貫

生活規律・学習規律の統一

○授業における学習規律の小中一貫

○学校生活のきまりの小中一貫

○家庭学習の手引きの小中一貫

○校外生活のきまりの小中一貫

- ・長期休業前の校外生活委員会の開催
(柏野・大森浜地区、中部・北星・中島地区)

教育課程の連続性・系統性の確立

学びの一貫性による小中接続の推進